

▶▶ 環境パフォーマンス

項 目	単 位	2016年度	2017年度
エネルギー	kL/年(原油換算)	3,603	3,973
CO ₂	t-CO ₂ /年	7,222	7,862
水	m ³ /年	37,262	32,389
産業廃棄物排出量	kg/年	47,643	58,174
排水量(排水処理施設)	m ³ /年	16,141	17,381

▶▶ 大気関係

項 目	施設名	法・公約 規制	自主 管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
ばいじん(g/Nm ³)	ガス吸収式冷温水器 AR-1	0.05	0.02	0.01	0.01	1回/5年
NOx [*] (ppm)	ガス吸収式冷温水器 AR-1	150	43.0	32.5	33.0	2回/年

※NOx：窒素酸化物

▶▶ 水質関係

項 目	単 位	法・公約 規制	自主 管理基準	実測値		
				平均値	最大値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	mg/L	5.8～8.6	6.2～8.2	7.6	7.8	1回/月
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	35	10	3.6	10.0	1回/月
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	35	10	6.4	9.1	1回/月
浮遊物質(SS)	mg/L	70	5	2.5	3.8	1回/月
ノルマルヘキサン抽出物質	mg/L	4	1	1	1	1回/月
大腸菌群数	個/m ³	3,000	6	0	0	1回/月

▶▶ PRTR対象物質

物質番号	対象物質	取扱量	排出量			移動量		その他の量		
			大気排出	水域排出	土壌排出	廃棄物	下水道	リサイクル	消 費	除去処理
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸およびその塩	1.91	0	0	0	0.01	0	0	1.90	0
31	アンチモンおよびその化合物	1.17	0	0	0	0	0	0	1.17	0
報告対象物質合計		3.08	0	0	0	0.01	0	0	3.07	0

▶▶ 環境保全効果

効果内容	投資金額(千円/年)	効果金額(千円/年)	効果量
エネルギー削減	9,435	2,672	43kL/年(原油換算)
廃棄物削減		68	225kg/年
水削減		0	0
その他		45	—
合 計	9,435	2,785	

▶▶ 大気関係 排出総負荷量 (単位:トン/年)

項 目	排出総負荷量	
	2016年度	2017年度
NOx	0.21	0.25
SOx [*]	—	—

※SOx：硫黄酸化物

▶▶ 水質関係 排出総負荷量 (単位:トン/年)

項 目	排出総負荷量	
	2016年度	2017年度
化学的酸素要求量(COD)	0.10	0.11
生物化学的酸素要求量(BOD)	0.06	0.06

- ▶▶ 悪臭関係 基準値の超過はありません
- ▶▶ 騒音・振動関係 基準値の超過はありません
- ▶▶ 粉塵関係 基準値の超過はありません

グリーン&グリーンプラント 枚方工場 [大阪府枚方市津田北町1-38-12]



事業内容	複合機・プリンター(米国政府調達機器)、モノクロトナー、感光体ドラムの製造、商品およびパーツの保管と配送	
敷 地 総 面 積	46,017m ²	電 力 使 用 量：14,843,381kWh (2017年度)
建 築 延 床 面 積	58,978m ²	水 使 用 量：32,389m ³ (2017年度)
緑 化 率	18.4%	産業廃棄物排出量：58,174kg (2017年度)
従 業 員 数	197名(2018年3月末現在)	

工場長ごあいさつ



工場長 広部 潤一

京セラグループの経営思想は、「社会との共生。世界との共生。自然との共生。共に生きる(LIVING TOGETHER)ことをすべての企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす」であります。

この経営思想の中には、「自然に対する畏敬の念を持って環境保護への貢献に努め、自然と共に生きる、地球に優しい企業でありたい」という強い思いが込められています。

大阪・京都・奈良の三市からも程近い、都市近郊に位置する枚方工場の周辺には、穂谷川、探鳥地として有名な山田池や「モニタリングサイト1000^{*1}」、「日本の里100選^{*2}」の一つに選定された「穂谷地区の里山」があります。

そして、その自然豊かな近隣には、関西文化学術研究都市の一面を占める学術研究地区があり、まさに自然と人と社会が共生する調和に満ちた絶好の環境と言えます。

当工場は、枚方津田のこの地に設立以来50余年になります。これもひとえに近隣をはじめ社会の皆さまのご支援のおかげと深く感謝し、今後も引き続きより積極的に自然環境の保護に貢献できるよう、そして、安全・安心を最優先に、事業活動に取り組んでまいります。

※1:環境省による里地調査の重点調査地域 ※2:朝日新聞社・(財)森林文化協会による選定

2017年度 環境目標と実績

環境目的	項目	2017年度目標	2017年度実績	結果	コメント
低炭素社会への貢献	温室効果ガス排出量原単位の削減 (kg-CO ₂ /加重平均指標) 原単位分母:加重平均	2016年度比 1.5%削減	2016年度比 6.3%削減	達成	設備更新や設備管理値見直しにより、電気使用量を削減
	エネルギー使用量(原油換算量) 原単位の削減 (kL/加重平均指標) 原単位分母:加重平均	2016年度比 1.5%削減	2016年度比 6.3%削減	達成	設備更新や設備管理値見直しにより、電気使用量を削減
循環型社会への貢献	産業廃棄物排出量原単位の削減 (kg/加重平均指標) 原単位分母:加重平均	2016年度比 1.0%削減	2016年度比 5.6%削減	達成	廃棄物の更なる有価化により、産廃排出量を削減
	水使用量原単位の削減 (m ³ /加重平均指標) 原単位分母:加重平均	2016年度比 1.0%削減	2016年度比 8.5%削減	達成	生産効率の改善により、設備冷却水を削減

CSR報告会を開催

2017年11月1日に、当工場において、CSR報告会を開催しました。枚方市副市長をはじめ行政官公庁、近隣自治会の方々、総勢10団体15名にご参加いただき、当社の環境経営や社会環境活動、また枚方工場の環境安全防災活動への取り組みをご報告しました。また、報告会の後、環境性と経済性に優れた製品のデモンストレーションを行い、環境に配慮した当社製品の取り組みもご理解いただくことができました。



報告会の様子

枚方市立津田小学校で理科実験授業を実施

2018年1月23日、当工場近隣の枚方市立津田小学校6年生の3クラス104名を対象に「理科実験授業」を実施しました。授業内容は、静電気を利用してコピーができる仕組みを理解する講義、および児童が自分で描いた原稿を手作業でコピーする実験で構成されています。少しでも自分の原稿をうまく写せるように何度も実験を繰り返し行う児童もあり、実験の楽しさと電気エネルギーが他のエネルギーに変換されて活用されることを実感していただきました。



ハンドコピーの方法を説明する社員ボランティア

アドプト・ロード&リバーを実施

当工場は、2004年から大阪府が主催する「アドプト・ロード&リバー・プログラム」に参加しています。アドプト・ロードでは毎月1回、JR藤阪駅から当工場正門前までの歩道を清掃し、アドプト・リバーでは、3カ月に1回、穂谷川左岸の遊歩道の清掃活動を実施しています。2017年度は、のべ108名の社員が参加しました。



アドプト・ロードで清掃活動を行う社員

枚方市「緑のカーテンコンテスト」の優秀賞を受賞

枚方市では、地球温暖化対策や暑気対策の有効手段の一つとして「緑のカーテン」の設置を市民に呼び掛けています。このたび、当工場が、工場管理棟などの建物全体を覆う、ゴーヤと朝顔でできた密集度の高いカーテンを作ったことなどが評価され、平成29年度「緑のカーテンコンテスト」優秀賞を受賞しました。



工場管理棟壁面の緑のカーテン



表彰状

中学生職場体験学習を実施

2017年11月7～8日と14～15日の期間、仕事の現場を体験する中学生の職場体験学習を実施しました。当工場では社会貢献活動の一環として毎年生徒の受け入れを行っており、2017年度は津田中学校・長尾中学校から合計8名の中学生を受け入れました。この職場体験学習は、当工場内での現場作業を中学生が実体験することで、働くことの意義や仕事に対する理解を深めてもらうことを目的としており、2017年度は、感光体ドラムの部品や製品の品質検査などを体験していただきました。



トナーコンテナ部品の組立体験

夏祭りを開催

2017年8月5日に開催された夏祭りでは、近隣住民の皆さま、来賓の皆さま、社員のご家族、1,800名を超える方々に来場いただきました。例年参加いただいている府立枚方津田高校吹奏楽部の皆さまの演奏や抽選会に加え、関西外国語大学アカペラサークルの皆さまが素晴らしい歌声を披露するなど、ステージは大変盛り上がりしました。模擬店も、長蛇の列となり賑わいました。



枚方津田高校吹奏楽部の皆さまによる演奏

労働安全衛生の取り組み

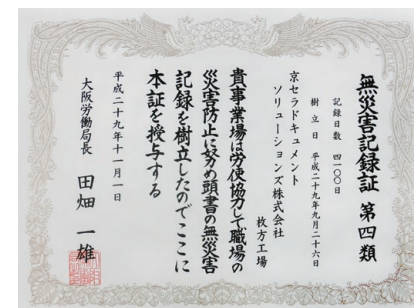
当工場は安全な職場づくりを最重要課題として取り組んでいます。各部門では毎月1回職場パトロールを行い、安全衛生面での指摘事項を挙げ、是正処置を実施しています。また、グループ内で発生した労働災害に対して水平展開を行い、労働災害を未然に防ぐ取り組みを推進しています。

また、2017年6月には、外部講師を招いてフォークリフトの安全運転講習会を行い、事故事例と順守事項、始業前点検、模擬運転など、フォークリフトにおける安全作業のあり方を再認識し、初心に立ち返って「安全第一」の作業を行っています。

そして、2017年9月26日に無災害継続記録4,100日を達成し、その功績がたたえられ、大阪労働局より表彰されました。11月15日に行われた北大阪労働基準監督署での表彰状授与式では、労働基準監督署長より「次のステップである無災害記録6,100日を目指し、継続して安心・安全な職場づくりをお願いします」とのお言葉をいただきました。当工場は、引き続き労働災害を起さない、起こさせないために日々の安全確保を徹底し、次のステップである無災害記録6,100日を目指します。



北大阪労働基準監督署での表彰状授与式



表彰状

構内通路での安全確保の取り組み

構内屋外通路における歩行者と車両の通行帯を色で区別することにより「グリーンベルト」として歩行者優先レーンを確保するための取り組みを行いました。これにより、社員はもちろん、外部入場者においても通行区分が明確となりました。加えて、構内のマンホールに滑り止めのペンキを塗り、構内通行の安全確保に大きく寄与することができました。

●塗装前のマンホール



●塗装後のマンホール



防災への取り組み

当工場は、南海トラフ巨大地震発生予想地域における防災対策推進地域にも指定されています。このため防災対策には以前から取り組んでおり、有事における被害を最小限にとどめるために、自衛消防隊を主体に防災活動および訓練を定期的に行っています。防火防災訓練では、緊急地震時における初動訓練や避難訓練・初期消火訓練、レスキューキットを用いた救出訓練や、けが人発生時の救護訓練なども実施しています。その他の取り組みとして枚方寝屋川消防本部から講師の方を招き、応急手当、AEDによる救命など、より具体的な訓練も実施しました。

2013年からは、エレベーターに閉じ込められた人の救出訓練、電話不通を想定し、トランシーバーのみを使用した総合防火防災訓練を実施し、日頃より有事における対応の強化に努めています。



初期消火訓練



救護訓練



訓練を終えての講評

●改善前



●改善後

